

# 素敵に輝け！

## いよいよ卒業だね

先週辺りから、6年生の校長室への来室頻度が高まっています。それは、これまで取り組んできたプリントを見せにくることであったり、「一緒に写真を」ということであったり、卒業記念に作ってくれた寄せ書きや巾着袋を持ってきてくれたりという理由からです。これにより卒業間近な雰囲気を感じていますが、今週に入ってから、卒業記念品贈呈式があり、卒業式予行がありで、「いよいよ卒業だね」との思いが一層強くなりました。

考えてみると不思議です。昨年の今頃、私は今の6年生を誰一人知りませんでした。それが、たまたま同じ学校になり、知り合っただけで親しくなったのですから。

現在の人類とほとんど同じ形態をもつ人の誕生は約10万年前と言われていています。その時からと考えても、どれだけの人が誕生したか分かりません。それは想像もできない数の数になります。現在の時点として考えると、世界の人口は「76億7696万人」。(因みに、日本の人口は「1億2610万人」。富山県の人口は「102万2770人」。射水市の人口は「9万1639人」。その内、金山地区は「1383人」です) 私たちは同じ時代に、同じ国に、同じ県の同じ市に生まれ、76億7696万人もの人がいる中で出会っているのです。不思議です。不思議過ぎます。

出会っていなければ、街ですれ違っても知らないで通り過ぎていたでしょう。活躍がニュースになったとしても、「そういう人がいるんだね」で流していたでしょう。でも、知り合ったことで、街で会ったときには、「久しぶり。元気にしてた？」と挨拶ができるし、活躍を聞くと、「〇〇さん、頑張っているなあ」と姿を思い浮かべ喜ぶことができます。出会うとはこういうことです。こんなよさがあるのです。

昨日の6限目、5・6年生が体育でTボールをしている様子を、職員室から眺めていました。楽しそうでした。みんなが生き生きとしていました。その様子が嬉しかったのですが、「こういう様子を見るのも、あとわずかだな」と物寂しさも感じました。とっても素敵な6年生だったので。

不思議な縁で出会うことができた6年生の子供たちが、明日、この学校を卒業します。出会ったことの喜びをかみしめるように、気持ちを込めて、よい卒業式にしたいと思っています。

「6年生のみんな、卒業おめでとう。出会えてよかったです」。